



明日香・聖徳通信



令和7年1月14日発行 校長 角田 哲典 第9号

令和7年（2025年）が始まりました。本年もどうぞよろしく申し上げます。先日、3学期の始業式を迎えました。その時の式辞です。

（小学校）

今日から始まる3学期は学年最後の学期であり、一般的に「まとめの学期」と言われています。一番短い学期ですが、非常に意義のある学期です。というのも、3学期は「まとめの学期」であり「新しい学年への0学期」でもあるからです。特に6年生は、中学校進学に向けての大切な時期です。春から、大きく飛躍できるようにするためにも、この3か月間、しっかりと足元を固めて欲しいと思います。

それでは、年始にあたって、今日は 3つの「C」の話をしていきます。

1つめの「C」は「Chance」（チャンス）です。今年も学校やお家・いろんな場面でたくさんの成長するためのチャンスがあるはずですよ。新しい年を迎えた、新しい学年になる……心機一転。まさしく、成長するための「チャンス」です。その「チャンス」を見逃さずに自分の手でしっかりとつかみましょ。

2つめの「C」は「Challenge」（チャレンジ）です。成長するためには新しいことに「チャレンジ」をすることが大切です。そのためには目標を立てることが必要ですよ。目標をもう立てた人も、まだこれから……という人もいます。どんなことにも 失敗を恐れず 積極的に「チャレンジ」をしてみようか。

そして、3つめの「C」は「Change」（チェンジ）です。

Chance（チャンス）をつかみ、新しいことに積極的にChallenge（チャレンジ）する……。そうすることによって、今までにない、より良い自分にChange（チェンジ）することができます。

「Chance」（チャンス）・「Challenge」（チャレンジ）・「Change」（チェンジ）……。この3学期、そして、今年1年間は、これらの3つの「C」を意識して頑張りましょ。

さて、2学期の終業式でみなさんに校長先生からの宿題を出しました。覚えていますか？「読書をする」です。

……この後…… ～子どもたちと冬休みの読書についてのやりとりをしました。～

それでは、新しい年を迎えた令和7年（2025年）が みなさんにとって素敵な一年になることを願って始業式の話とします。

【中学校】（前文略 小学校と同様）

それでは、年始にあたって今日は「大相撲」の話をしてします。

大相撲の話とは言っても、お相撲さんではなく「相撲」の勝負の判定を司る「行司」さんの話。相撲の取組に行司さんは、よく「はっけよーい のこった」という言葉を発します。この「はっけよーい」という言葉にはどういう意味があるのでしょうか。いろいろな説があるのですが、今の皆さんにぴったりあてはまるものを紹介します。

漢字で書くと「発気用意」（はっき・ようい）です。これは、「気持ちを表に表さないとか力がでない」とか「よく考えて工夫して勝負しなさい」という意味合いらしいです。勝負の膠着状態が続いた時に、行司さんからの「はっけ ようい」のかけ声があります。この言葉で「更に力を発揮できる」ということらしいです。

この「発気用意」という言葉の意味合いである「気力を出してよく考えて工夫して勝負しなさい」ということは、何も相撲に限ったことではなく、他のことにも通じるものです。

勉強や仕事、そして部活動をするときにも「物事を成功・実現」するためには、「そのうちにがんばる」という「ゆる～い気持ち」ではなくて「今からやる」という強い決意、そして「計画や作戦」を自分の中で問答しながら必ず実践することが、何より大切だと思っています。もし、途中で行き詰まったら、先生方から「発気用意 残った」という意味合いの指導が入るかも知れませんが 新年・新学期に向けて、最初の一步（相撲で言えば立ち合い）を踏み出しましょう。

さて、今年は2025年。西暦の一桁の数が「5」を表すとき、思い出すのが「阪神・淡路大震災」。今からちょうど30年前の1995年1月17日に淡路島の北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、この震災で6000名以上の方が犠牲となられた忘れられない出来事です。

30年前と言えば、皆さんが生まれる遙か昔、ここにおられる先生方も生まれる前の出来事です。

皆さんの中には、「まさか」自分のところでは、起こるとは思っていない人がいるかも知れません。残念ながら、おそらく皆さんが生きている間にはかなり高い確率で、今までにないほど大きな大きな地震が起こると言われています。怖がるだけで何もしないまま、その時を迎える訳にはいきません。その時どう生き延びるのか、そしてそのために「今」すべきことは何なのか、しっかりと考えて、備えることが大切です。

1月17日に地震による避難訓練をします。今まで以上に、目的意識をもって望んで欲しいです。

それでは、新しい年を迎えた令和7年（2025年）が みなさんにとって素敵な一年になることを願って始業式の話とします。